

特集③ ムラタの緑化活動

地域と共生する 緑豊かな工場を目指して。

ムラタでは創業以来「緑化」に力を注ぎ、明確な方針に基づいた活動を進めてきました。現在も全国の事業所では「地域との共生」を目指しさまざまな緑化への取り組みを展開しています。

時代を先取りした「緑化経営」

環境意識の高まりを背景に、産業界では近年「緑化」の重要性が叫ばれていますが、ムラタでは緑を深く愛した創業者のもと、今から30年以上も前に全10箇条からなる「緑化基本方針」を制定しています。この基本方針では、工場立地法や自治体の定める条例などの「緑化法制」を遵守するだけでなく、さらに積極的に緑化活動を進めることで地域に「文化的雰囲気」を生み出し、それを維持していくことが企業としての社会的責任であることを明記しています。同方針をベースに、全国の事業所では「地域と共生する緑豊かな工場」を目指した体系的な緑化活動を進めてきました。

各地域の文化・自然との調和を

現在、ムラタの全国の事業所では、事業所ごとに植栽樹木の名称・品種・植栽場所・本数などをデータベース化した上で植栽計画を策定。各都府県や市町村の花・樹木、地域に自生する植物などを中心に据えるとともに、季節ごとに多彩な花や実、香り、緑、紅葉などの変化が楽しめ、さまざまな野鳥や昆虫が集まるような緑地の維持・管理を進めています。サクラやツバキ、シャクナゲなどの開花時期には、「観賞会」として、周辺地域の方々に公開しています。

こうした長年にわたる活動が評価され、2006年度には当社本社が電子部品業界として初めて「社会・環境貢献緑地

シャクナゲ鑑賞会
(八日市事業所)



本社の
和風庭園

Murata Electronics
(Thailand) Ltd. の
従業員の憩いの場

桜の季節には一般公開
(出雲村田製作所)

評価システム(SEGES※)」の認定を取得しました。さらに、野洲、八日市、横浜の3事業所でも審査を受け、2007年度の認定を取得しました。

「そこにムラタがあることが、地域の喜びであるように」。ムラタが掲げるこの理念には、事業を通じて地域の経済発展に役立ってほしいという思いと同時に、緑豊かな空間の創造によって、地域の豊

かな環境づくりにも貢献していきたいとの願いが込められています。ムラタではこれからも、緑化という「地域貢献」に、積極的に取り組んでいきます。

※ SEGES: 財団法人都市緑化基金による、企業などによって創出された良好な緑空間と、そこでの活動を第三者が評価・認定するシステム。土地利用の永続性、緑地管理、緑地機能の発揮という3つの原理と、企業の緑地に対する姿勢や考え方、さらには企業緑化を牽引する先進的な取り組みを総合的に評価し、審査。